

理事長ご挨拶

日立健康保険組合 理事長
(株)日立製作所 執行役常務
CHRO兼人財統括本部長
中畑 英信



皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当健康保険組合の事業運営に関しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本再興戦略の目標の一つである「2020年までに国民の健康寿命を1歳以上延伸する」という取り組みを踏まえ、近年、健康保険組合の役割として、「保健事業等を通じた加入者の健康管理」が強く求められております。一方、企業においては、健康経営の取り組みを推進することで、従業員の健康保持・増進に取り組んでいただいております。2015年度から始まったデータヘルス計画第1期の最終年度である2017年度は、当健康保険組合は、これまで以上に事業所との連携を強化しながら、効果的な健康増進施策を推進してまいります。

昨年12月に、日立健保では、加入者の皆様への情報提供強化を目的に、健康ポータルサイトをリニューアルし、「MY HEALTH WEB (マイヘルスウェブ)」を立ち上げました。「MY HEALTH WEB」は、健診結果に基づいたアドバイスの確認や日々の健康データの登録による健康管理を行うことができるウェブサイトです。健康度向上の取り組みに対してポイントが付与され、本年5月からは貯まったポイントを健康関連グッズ等と交換できるようになります。また、4月からは新しいウォーキングプログラムも開始しておりますので、ぜひ、一人でも多くの方にご利用いただき、楽しみながら健康増進に取り組んでいただければと存じます。

財政面においては、高齢者にかかる拠出金や一人当たり医療費の増加などにより、健康保険組合の負担は増え続けています。日立健保では、後期高齢者支援金の全面総報酬割への移行等の影響により、2017年度は大幅な赤字予算となります。また、介護納付金につきましても、2017年度から総報酬割を段階的に導入することが確定しており、さらなる負担増加が見込まれることから、介護保険料率を継続的に引き上げる必要が生じております。

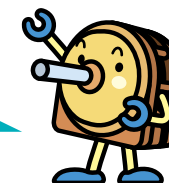
厳しい財政状況下ではございますが、皆様が健康への関心をより高め、自発的な健診受診を始めとする疾病予防、健康ポータルサイト利用などの健康保持・増進に取り組んでいただくことが、QOL (Quality of life: 生活の質) の向上につながると確信しています。本年度も加入者の皆様が健康で、明るく、安心して暮らすことができるよう、全力で事業運営に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

重点実施事項

日立健保
2017年度

1 健康経営と連動した健康増進事業の推進

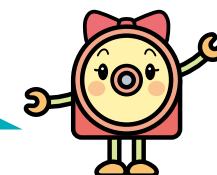
健康ポータルサイトを利用しよう!



項目	取り組み内容	目標
データヘルス計画の推進 (特定保健指導を含む)	・ コラボヘルスの推進 (事業所連携強化による参加率および改善率の向上)	・ 全事業所での コラボヘルス実施
	・ 個人向けインセンティブ制度の浸透	・ 健康ポータルサイト 登録者: 50,000人
	・ 第二期に向けた制度および事業の見直し (健診制度、任継・特退・家族向け事業等)	・ 2018年度の制度導入

2 健保財政基盤の強化 (医療費適正化、業務効率化)

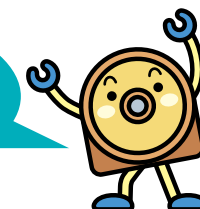
ジェネリック医薬品を活用しましょう!



項目	取り組み内容	目標
医療費適正化の推進	・ レセプト分析を踏まえた受診指導 (重複受診者への個別指導等)	・ 2017年度の事業開始
	・ ジェネリック医薬品の使用促進 (新たな目標値に対する取り組みの検討)	・ ジェネリック使用率: 70% (厚労省目標: 2020年度末80%)
申請サポートシステム 利用率向上	・ ペーパーレス化による利便性の向上	・ 2018年度の運用開始
介護老人保健施設 中期計画の策定	・ 2021年までの事業計画と財政検証	・ 2017年6月の組合会報告

3 「基本と正道」の徹底

みなさまの個人情報を適切に扱います



項目	取り組み内容	目標
Pマーク更新審査対応	・ マイナンバー制度導入に対応した取り組み	・ 2018年2月の更新審査合格